

前回議事への対応

日時：平成 29 年 8 月 1 日（火）18：00～20：00

場所：日野市役所 101 会議室

骨子案の確認・検討について

・日野の生きものについて

要点	<ul style="list-style-type: none"> ・「2.4.1 日野市全体の生物相」の表 2-3 には調査の実施主体を記載する。 ・「2.4.2 生息環境区分ごとの特徴」は地域戦略策定に係る調査結果であることを示す。調査方法を記載し、詳細なデータを別途掲載することも記載する。 ・「2.4.1 日野市全体の生物相」で使用される生きものの写真は、植物であれば開花時期に撮影したものを掲載してほしい。必要であれば提供する。 ・「2.4.1 日野市全体の生物相」の表 2-2 などに使用されている「重要種」は基準を明記する。 ・頻出する専門用語については、巻末に用語解説が必要である。頻出しない専門用語などは文中に説明が必要である。 ・「2.4.1 日野市全体の生物相」の内容は新しい文献資料を入れた方がよい。 ・「2.4.1 日野市全体の生物相」は 1 地形につき 1 ページ程度で、写真を多用し、一般の人にも分かりやすくなるようにまとめる。
対応方針	<p>「2.4.1 日野市全体の生物相」および「2.4.2 生息環境区分ごとの特徴」について、いただいた意見をもとに修正作業を進めている。掲載する写真や新しい生きものの文献資料は委員より別途ご提供いただくこととする。用語解説は必要であれば巻末に掲載する。調査の詳細なデータは資料編として地域戦略に掲載する。</p>

・計画期間について

要点	<ul style="list-style-type: none"> ・「3.3 計画期間（案）」に参考として愛知目標が掲載されているが、一般的には知らない人が多い。用語解説が必要である
対応方針	<p>「3.3 計画期間（案）」に愛知目標の注釈を追記した資料 2（P38）。</p>

・重点プロジェクトの検討について

要点	<ul style="list-style-type: none"> ・重点プロジェクトが設けられていない目標項目があるため、全ての目標に対応するように重点プロジェクトを検討すること。 ・「4.1 取組みの体系（案）」の体系図に重点プロジェクトの記載があるが、重点プロジェクトの説明は「4.3.1 重点プロジェクトの考え方」（P68）から始まるため、構成の修正が必要である。 ・「4.3.2 重点プロジェクト（案）」の「(8) 日野市の侵略的外来生物の選定」は、「侵略的外来生物」とは何か説明が必要である。 ・重点プロジェクトとして、「多摩川の清流化」についても追加してほしい。 ・「4.3.2 重点プロジェクト（案）」の「(6) 民有緑地の公有化による東豊田緑地保全地区の拡張」について、単純に「民有緑地の公有化」とし、東豊田緑地保全地域の拡張やその他の公有地化も範疇とする。 ・「4.3.2 重点プロジェクト（案）」の「(7) ちょうの集まるまちづくり」は、「チョウや多くの昆虫が集まる」などとし、対象を広げる。 ・「4.3.2 重点プロジェクト（案）」の「(7) ちょうの集まるまちづくり」は、基本方針の「人々の関心を高める」に移動させる。 ・基本方針の「人と自然の関わりをつくる」では緊急かつ重要な問題として、雑木林の手入れなど、市民と自然との関わりが少なくなっている問題がある。そのため、管理する人材を育成する、管理を実施する、という重点プロジェクトが必要である。目標 4 の重点プロジェクトに追加してはどうか。 ・「4.3.2 重点プロジェクト（案）」の「(8) 日野市の侵略的外来生物の選定」は、対策まで記載してよいのではないか。 ・「4.3.2 重点プロジェクト（案）」の「(7) ちょうの集まるまちづくり」を、基本方針「人々の関心を高める」に移動させると、目標 7 の重点プロジェクトがなくなるため、代わりとして「多摩川の清流化」を追加するのがよい。 ・重要種や貴重な自然に対する重点プロジェクトを追加するべきである。
対応方針	<p>いただいた意見をもとに、重点プロジェクトと関連する目標の関係を再整理した。新しく重点プロジェクトを追加する意見も挙げられたが、今後の推進体制や進行管理などを考慮し、実現可能な項目数を検討した結果、目標ごとに重点プロジェクトは 1 つに絞り、合計 8 つの重点プロジェクトを設定することとした[資料 2 (P68～72)]。</p>

・推進体制と進行管理の検討について

要点	<ul style="list-style-type: none"> ・進行管理を行う時期や回数、実施する内容を明記する必要がある。 ・進行管理はなるべく既存の仕組みと足並みを揃える事や、最初の数年は重点プロジェクトの推進に活動を絞るなど、実現可能な体制にする必要がある。 ・既存の施策を拡張する方が現実的で、実行力があるものになる。うまく関連性を見出して既存の施策と合わせる方がよい。 ・既存の取組みを行っている団体に関わってもらって、その延長上でできるように工夫するのがよい。
対応方針	<p>いただいた意見をもとに、具体的な推進体制と進行管理の検討を行った資料 2 (P75～76)。実施体制や進め方は、今後も意見をいただきながら詳細を決定していきたい。</p>